

## 全国港湾第3回中央執行委員会を開催

### 1. この間報告事項

- (1) 韓進海運の破綻に係わって、10月17日に開催した緊急中央事前協議会で、豪州航路の再編について、関係港における雇用への影響を精査した結果、概ね許容範囲であることから、19日に日港協へ暫定を前提に了承し、地区協議に付すこととした。
- (2) 拡大労使政策委員会を11月1日に開催した。議題は、①年末年始特別例外荷役、②ゲートオープンについて、③産別制度賃金課題について、④その他(協定見直しWG、韓進海運対策、邦船3社の統合問題など)であった。
- (3) 国民的諸課題について
  - ①雇用共同アクションの呼び掛けた労働法制改悪反対署名の促進(11月8日現在6,500筆を集計)について。
  - ②中央労働委員の公正な任命を求める団体署名の促進(11月8日現在170筆)について。
  - ③日航不当解雇撤回闘争について、3労組統一要求を支持し、日航に争議解決を迫る団体署名の促進(11月8日現在89筆)について。
  - ④辺野古新基地建設反対署名を「沖縄の風」の伊波洋一議員と糸数慶子議員を通じて、14,000筆を超える署名を提出した。

### 2. 検討事項

- (1) 16年秋年末闘争について
  - ①行動日程 11月17日(木) 行政交渉(国交省、厚労省、経産省、消防庁)  
11月18日(金) ユーザー・荷主、政党要請
  - ②行動規模 各単組、各地区港湾代表含め全体で、60名とする。
  - ③申し入れ書について確認を行う。
- (2) 年末年始特別例外荷役の対応について  
産別制度賃金について回答を求めることを基本に対応することとした。
- (3) 17春闘方針(骨子)と要求(素案)について討論を行った。
- (4) 今後の日程について確認